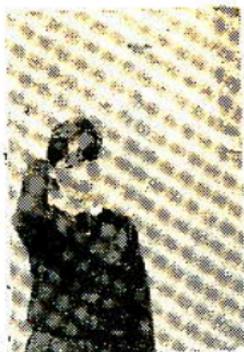


僅か (イ)「少し」と同じ手まね。(ロ)「つまらない」と同じ手まね。「僅かですが……」の場合。

忘れる 拳にした右手を頭の右側につけて



から、ぱっと五指を開いて上へ上げて行く。頭の中にあつたものが、放散して行くこと。

和製 日本—造る—物(いろいろ)

綿 五指を屈めて掌を左右に向い合わせた両手でふわりとした綿の塊を持った姿態で、それを少し左右に引き伸ばす身振。

詫びる 「謝やまる」と同じ手まね。

和服 「着物」と同じ手まね。

笑う 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手。その五指を屈めて、頬の左側につけ

口を被うようにして口を開いて笑う表情。

割算 左手の掌を内側にし指頭右に差した人指差(「一」の形)を上下に挟むように、右手の掌を前向け指頭を前方にさした人差指と親指をコの字形にして囲む。即ち前から見て、この記号の形をつくり—算術。

割引 金銭—引く(省く)

悪い 指頭を上にした右手の人差指で鼻頭の上を右から左へささっとかすめる。善い(鼻高)の鼻を切ったこと。

悪るかつた (イ)「謝まる」と同じ手まね。

(ロ)「御免御免」と同じ手まね。

悪賢い 「猜るい」と同じ手まね。

悪口 悪い—云う。

悪るさ 「やんちゃ」と同じ手まね。

悪者 (イ)悪い—人(男性或は女性)。(ロ)意

地悪(不正直)—人。

数詞

0

親指と人
差指で輪
をつくる
(他の三
指は伸ば
したまま)



一

人差指



二

人差指と
中指



三

人差指と
中指に薬
指



四

右の三指
に小指。

